

地域の宝である子供を 学校・家庭・地域が一体となって育てる活動

青森県横浜町

活動名

有畑小学校支援事業による活動

関係する学校

有畑小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	2人	20人	20年度	無	有	無	有	
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	2人	20人	53日	有	無	無	無	
実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携		
体育館、特別活動室					19年度	一体型		
コミュニティスクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

<学校支援地域本部>

- ・平成20年度に、学区内3地区の町内会会長を含むボランティアを中心としたメンバーで構成する学校支援地域本部協議会を設置。
- ・勤務時間内に、学校側と学校支援ボランティアの打合せ時間を確保することが難しいため、コーディネーターを中心に「ういず みい」カード（支援依頼書）を活用する工夫を取り入れ、子供たちと活動。
- ・JA指導員と老人クラブの協力の下に花壇整備。
- ・有畑母親クラブの協力で、本の補修や新刊整理。
- ・教員のニーズに合わせたボランティアによる学習支援。
- ・町外有識者を招へいしての講演会。
- ・町内の事業者と協力した校外学習の企画。

<放課後子供教室>

- ・平成19年度から、福祉部局と連携し、放課後子どもプランを実施。平成27年度からは、放課後子ども総合プランを推進。
- ・コーディネーターを中心に「出前教室」や体験学習（茶道教室や昔遊び等の文化的な活動、タグラグビー等の軽スポーツ）を実施。
- ・「読み聞かせグループ たんぼぼ」を中心に読み聞かせや、英語絵本を通じた英語に触れる機会の提供。

特徴

【特徴的な活動内容】

<学校支援地域本部>

有畑芸能保存会による伝統文化の継承と地域事業者との連携による校外学習の充実、体験型学習の実施など、事業者、学校、行政、そしてボランティアの連携が図られる活動を例年行っている。また、ボランティアの発案からバトン指導が始まり、バトンクラブが作られ運動会等で発表したこともあった。

<放課後子供教室>

「出前教室」で各学校へ出向き、「読み聞かせグループ たんぼぼ」による多様な絵本の読み聞かせを行っている。従来の絵本のほか大型絵本、英訳絵本を使用し、教育委員会所蔵の書籍のみならず、教育サポーターが持参する絵本も使用する等、多岐にわたっている。茶道教室や昔遊びなど、現代の子供たちにとってなじみが薄い活動を経験することで、文化に触れる機会を提供する貴重な時間となっている。近年、実施内容の改善を図り、軽スポーツや環境学習といった分野への取組も行うようになってきている。

【実施に当たっての工夫】

<学校支援地域本部>

コーディネーターが学校からの支援依頼書の依頼内容を基に登録者をマッチングし、連絡及び調整の上、花壇整備や学習支援等の教育支援活動を展開している。

学校とコーディネーター等との話し合いは、定期的な情報交換会のほかにも日常的に行われている。

学校図書整備では、親子で活動し、校外学習の引率や花壇整備などは、地域のボランティアにお願いするなど、ボランティアの配置を工夫している。体験型学習が例年重複しないような取組を心がけ、地域事業者の理解を得ながら支援内容を計画している。

このような活動を継続することにより、地域全体に笑顔が増え、相互のつながりや地域の教育力が向上してきた。

<放課後子供教室>

コーディネーターが教育サポーターのメンバーや学校側と調整を行い、適宜、担当課へ連絡する流れとなっている。

また、教育サポーターやコーディネーターが気づいたら意見を述べ合える風土づくりも大切にしている。



じゃがいも植え

事業を実施して

<学校支援地域本部>

実際にボランティア活動をすることにより、保護者や地域の方が学校支援ボランティアに対して理解を示すようになった。社会科見学では、体験活動時に安全面への配慮が十分にでき、教員もしっかり指導できるようになった。また、活動の様子を掲載したお便りを発行することにより、ボランティア活動についての地域への周知だけでなく、次のボランティア活動への意欲づけにもつながっている。

<放課後子供教室>

放課後という時間を通じて、従来の学習支援はもとより、地域の文化の伝承や絵本の読み聞かせ、そして保護者以外の大人（教育サポーターやコーディネーター等）と会話する中で、社会性を育むと同時に、参集する児童が変わる環境にありながらも、学年を超えて友達意識を習得できるようになってきた。



神楽の伝承

その他

<学校支援地域本部>

校内花壇の整備、菜の花工房での菜種まき・菜種油の搾油工場見学、校内畑におけるじゃがいも・さつまいもの栽培・収穫、ホタテ加工工場（マルト鳥山商店）の見学、及び地場産品を使った手作りお菓子の体験などを実施している。家庭科のミシンがけの補助、社会科見学時の引率、児童が本の紹介の仕方を競う読書甲子園の審査等、学習支援にも積極的に取り組んでいる。